

マイナンバーカード取得促進のための 先進事例集(その2)



平成30年2月5日 総務省自治行政局住民制度課



目 次

【連携によるキャンペーンの展開】

①県・市連携による面的な「マイナンバーカード取得促進キャンペーン」の展開(岩手県)
③市内 46 郵便局との協働によるマイナポータル利用やカード申請のサポート展開(群馬県前橋市)······ 3 p
若年・子育て層向けコンテンツ・イベントの活用】
①人気漫画とのコラボレーションによる若年層向け普及促進の展開(大分県日田市)
一括申請(申請時来庁方式)】
①地元企業と連携し、大規模な「企業等一括申請」を実施(栃木県宇都宮市) 7g2 (2) 自治会との連携による「地域に出向く」窓口サービスの展開(福岡県北九州市) 8g2 (2) 8g2 (2) 8g2 (2) 8g2 (3) 8g2 (4)
カードの多機能の訴求】
①コンビニ交付体験会を通じたカード取得促進(東京都杉並区) ····································

②窓口での体験を通じたコンビニ交付利用促進とマイナンバーカード取得の促進(石川県小松市)……10p

③マイナンバーカード取得(マイキーID 設定)を条件とする交通系 IC カードの普及促進(三重県津市)・11p

マイナンバーカード取得促進の取組 岩手県の取組事例

〇県・市連携による面的な「マイナンバーカード取得促進キャンペーン」の展開

1. 概要

▶ 県と県内4市(盛岡市、宮古市、大船渡市、一関市)が連携して周知・広報活動を 面的に展開、地元メディアに訴求することで広く県民にPR

2. 県・市の役割分担

- ▶ 県から市に対して共催依頼(市からの共催依頼も積極受付)
- 11月(約1ヶ月前頃)~担当者レベルでの協議開始、2~3回程度の打合せを重ねる

県

報道への資料提供も連携実施

市

- 市町村への共催依頼
- マイナちゃん着ぐるみの手配
- ・当日の動員(3名)

- ・集客の見込める施設(官民問わず)の選定
- ・キャンペーン場所の使用許諾
- 配布するチラシの作成と印刷
- 当日のゆるキャラと市職員の確保(2~12名

3. 当日の様子

- ▶ マイナちゃん及び4市のゆるキャラによるキャンペーンの展開
- ▶ 内閣府配布のマイナちゃんクリアファイル、各市町村で用意したクリアファイルに グッズ(マイナちゃんシールや缶バッチ)を同封などの上、チラシを配布
 - ✓ 1日目: 平成29年12月12日(火) ショッピングモール(イオンー関、キャッセン大船渡)
 - ✓ 2日目: 平成29年12月13日(水) 盛岡駅前広場、ショッピングモール(キャトル宮古)
- ▶ 当日の様子は地元TVや地元紙において取り上げられた



·関市キャラクター (ミーコちゃん、シー ちゃん、せん太君)

於:キャトル宮古





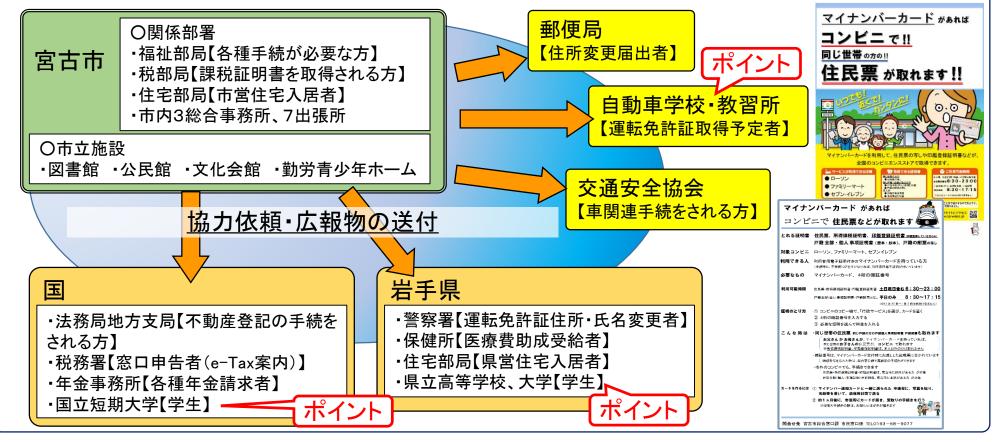


マイナンバーカード取得促進の取組 岩手県宮古市の取組事例

〇国・県・民間・住民との協働による幅広いカード取得とコンビニ交付利用の働きかけ

1. 概要

- ▶ 市役所に来庁される方はもちろん、各種施設利用者や保健サービス利用者、不動産や税の手続をされる方、学生に至るまで、あらゆるタッチポイントをとらえて、カードの取得とコンビニ交付利用を働きかけ
- 国・県の各機関、学校施設、郵便局、自動車学校、住民(交通安全協会)との連携・協働により実現
- ▶ 特に、自動車学校・教習所や学校と連携した若年層への働きかけがポイント
- 2. 協働の全体像 ※ 括弧(【】)内は働きかけの主なターゲット



マイナンバーカード取得促進の取組 群馬県前橋市の取組事例

〇市内46郵便局との協働によるマイナポータル利用やカード申請のサポート展開

1. 概要

- ▶ 日本郵便株式会社との協定締結により、市内全ての郵便局(46局)に、内閣府配布の端末を設置。マイナポータルアクセス用、カード申請用として運用(平成29年11月22日運用開始)
- ▶ 業務に支障のない範囲で郵便局員がサポート。地域に密着した身近な郵便局でマイナポータル利用、カード申請が可能に。

2. 経緯(平成29年)

(平成25年より、前橋市・郵便局連絡会議を定期的に開催し、様々な連携事項を協議)

6月 前橋市・郵便局連絡会議で連携事項として提案

7月~10月 市と日本郵便株式会社との間で調整

市と内閣府・総務省との間で調整

11月初旬 各郵便局長への研修

(端末利用・カード申請補助方法)

11月21日 協定締結、翌22日運用開始



3. 実績

▶11月22日(運用開始)~1月31日の期間に、176件の利用、サポート実績



局長さんの創意工夫で説明用パネルも掲示

業務に支障のない範囲で郵便局員がサポート

マイナンバーカード取得促進の取組 大分県日田市の取組事例

〇人気漫画とのコラボレーションによる若年層向け普及促進の展開

1. 概要

- ▶ 市出身者が作者である人気漫画のキャラクターを、カード取得とコンビニ交付利用を呼びかけるポスター等に採用し、広報活動を展開
- ⇒ コンビニ交付サービスの開始(平成30年2月1日予定)を前に、多くの市民はもちろん、 カードの普及率が低い若者世代に訴求することを目的

2. 具体的な展開

実施準備

- ① 出版元と「日田市におけるマイナンバーカード普及促進」を目的とした広報媒体に使用することの許諾を得る「広告宣伝使用許諾契約」を締結
- ② <u>日田市において</u>、コミック等に使用されている作画のデータ素材からポスターに<u>使用</u> したい素材を選定
- ③ 出版元から提供された素材を利用し、日田市においてポスター等のデザインを実施



進撃の巨人

キャンペーン実施

- ① ポスター等の設置
 - ▶ 市役所の人目につきそうな場所(本庁舎の壁、市民課前のフロア等)
 - ▶ 市内コンビニ20カ所にポスターとのぼりの掲示依頼
 - ▶バス会社や行政書士事務所等の民間スペースにポスター配付
 - ▶ 日田市観光協会、大分県庁、その他国・県の機関にポスター配付
- ② カード申請者にオリジナルグッズ贈呈
 - ▶ 期間中に市役所市民課でマイナンバーカードを申請された方(先着200名)に「進撃の巨人」のオリジナルコラボクリアファイルをプレゼント
 - ▶ 市役所への来庁者に対してPRポケットティッシュを無料配布



クリアファイル(右) ポケットティッシュ(左)



マイナンバーカード取得促進の取組 宮城県栗原市の取組事例

〇ご当地ヒーローショーを活用した子育て世帯向けマイナンバーカード取得促進

1. 概要

- ▶ 地元のショッピングモールのご当地ヒーローショーでカード取得を呼びかけ
- 併設した出張窓口で無料写真撮影・オンライン申請補助を展開

2. 具体的な実施内容

(平成29年12月17日(日)、イオンスーパーセンター栗原志波姫店)

ご当地ヒーローショーでのカード取得呼びかけ

▶ ショーのシナリオとしてカード取得を呼びかけ

【悪役】「今日はカードが作れるイベントだと聞いてやってきたベァ!」

【悪役】「なになにマイナンバーカードベァ?せっかく俺様が来たんだから、アグダレ団カードに変更するベァ!」

【ヒーロー】「待てっ!アグダレ団!そすたな事、オラが許さねぇぞ!」

※※闘 継※※

【ヒーロー】「今日は「アグダレ団カード」ではなく、「マイナンバーカード」が作れるイベントをしているんだ!「マイナンバーカード」は会場のみんなの生活に役に立つカードだからぜひ作ってみてくれ!」

- ▶ ヒーロー自身マイナンバーカード(模擬カード)の交付を受け、隣のブースで申請受付を行っていることをお知らせ
- 終演後には施設内を回りポケットティッシュ配布を実施

併設窓口でオンライン申請補助

► 無料写真撮影、オンライン申請補助により、ヒーローショー後に興味を持ち、申請に来た住民をすぐに受付

3. 効果

▶ この日のイベント会場での申請受付件数が、市の1ヵ月分以上の申請件数を実現



申請受付

の様子

マイナンバーカード取得促進の取組 茨城県守谷市の取組事例

〇成人式における写真撮影サービスによる申請補助取組

1. 概要

- ▶ 成人式において、新成人への配布封筒に制度広報冊子を同封
- > 記念撮影と申請用写真の撮影ブースを展開
- ▶ 後日、申請用写真を郵送し、交付申請を行ってもらう

2. 実施詳細

実施場所:守谷市中央公民館(H30成人式対象者:700名) ロビーに特設ブースを展開し、記念写真+申請用写真の撮影サービスを実施申請用写真の郵送手続とともに、申請案内チラシを配付。



6

②記念撮影用スペース

③申請用写真撮影ブ

※頭部前面への髪飾り等の着用、顔の輪郭が隠れる服装等の場合、

写直が申請に利用できないことに注意

マイナンバーカード取得促進の取組 栃木県宇都宮市の取組事例

<取組前>

全社員数

約1,160名

〇地元企業と連携し、大規模な「企業等一括申請」を実施

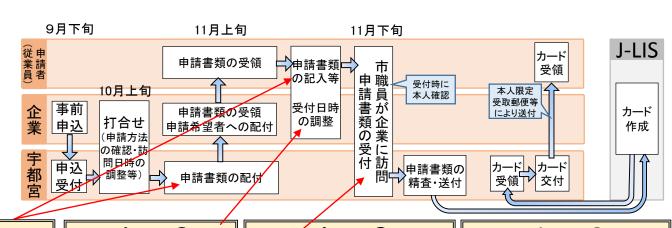
1. 概要 地元企業 T社と連携し、企業等一括申請を実施。 <u>T社のマイナンバーカード取得状況</u>

約660名が新規にマイナンバーカード交付申請。

- ◆実施期間・時間帯:
 - •4日間(平成29年11月20日(月)~22日(水)、30日(木))
 - ・10時~16時(うち昼休み1時間)
- ◆申請受付件数:
 - 約660名 うち市外住民約120名

2. 具体的な流れ

- 企業側・行政側の事前準備 (約2ヶ月間)により、当日の対 応時間・負担を最大限圧縮
- 申請書記入及び本人確認書類の写しの持参を予め依頼。当日は、①書類の不備確認、②本人確認のみ対応。



取得社員数

約290名

(約25%)

取得者数

約660名增

ポイント① 申請者の事前準備

- ・企業を通じて申請書様式を配付、事前記入
- ・本人確認書類の写しの 用意

ポイント② 企業の事前協力

・15分刻みでの申請者 スケジュール表作成・申請者の申請書記入 サポート

ゲイント③ 当日は最小人員、最短処理

- ・市民課個人番号担当のうち、 3~4名で対応。1名×1窓口
- |・概ね1名2~3分で処理

ポイント④ 市外住民対応の事前調整

<取組後>

全社員数

約1,160名

取得社員数

約950名 (約80%)

・市外住民について住所地市 区町村への事前連絡(住所等 変更有無の事前確認が可能) ※約660名のうち約120名(約2割) が市外住民

マイナンバーカード取得促進の取組 福岡県北九州市の取組事例

○自治会との連携による「地域に出向く」窓口サービスの展開

1. 概要

- ▶ 自治会を通じて周知の上、希望者・団体を掘り起こし、日時を決めて市民センター・ 公民館等に出張窓口を展開
- ▶ 企業・学校など各種団体・組織に属さない、一般の地域住民のための一括申請の 場にステップアップ中

2. 具体的な展開

問題意識1

市民の声

「一人では写真の撮影が難しい」 「申請の方法がよく分からない」

「区役所まで行くのは大変」

ステップ1(門司区、H29年7~8月)

⇒無料写真撮影、申請サポート

【実績】12会場、438人に実施(平均5分/件程度) 1会場当たり6~7人の職員で対応

市の役割

自治会会長の会議で打診 ・申込書の受付 ・出張窓口を設置

自治会の役割

・住民への周知、申込者募集 ·希望日時、会場等の選定

•申込書の送付

問題意識2

市民の声

「交付のためにもう一度役 所に行くのは面倒」

「区役所まで行くのは大変」「の負担を避けたい」

市職員の声 「交付事務の平準化

2行政区でモデル実施

ステップ1

門司区

を!3~4月の繁忙期

全7行政区中、



ステップ2(八幡東区、H30年1月~2月)

⇒無料写真撮影、申請サポート

+本人確認・申請受付(申請時来庁方式

市の役割

自治会会長の会議で打診 申込書の受付

出張窓口を設置

希望住民の本人確認 (事後)本人限定受取郵便 でのカード交付

ステップ3(全区展開、H30年度~

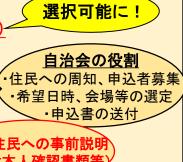
<u>ステッ</u>プ2

八幡東区

・希望住民への事前説明

3. ポイント・効果

- 地域住民: 役所まで行かず、自宅の近くで申請可能。また、自身の環境・状況に応じて交付場所を選択可能
- 市職員:窓口対応の軽減と繁閑に応じた事務負担の平準化を実現



マイナンバーカード取得促進の取組 東京都杉並区の取組事例

○コンビニ交付体験会を通じたカード取得促進

1. 概要

- ▶ 自治体職員によるマイナンバー制度説明会を開催、 その中でベンダーと連携したコンビニ交付体験会を実施
- ▶ あわせて説明会場にてカード申請サポートを展開

2. 実施内容

平成29年9月~12月、区民センター、集会所等にて開催(全14回)

開催告知 ・自動交付機

- ・自動交付機廃止案内時にコンビニ交付案内(23万通)
- ・町会・自治会等の会合の場へ職員が出席し開催告知
- ・町会・自治会の回覧板を利用し、チラシ回覧
- ・住民が理解しやすい説明資料を職員が作成
- マイナンバーカードに関してはセキュリティを解説
- ・ベンダーによる動画説明・デモ機により体験
- ・デモ環境構築用PCをデモ機に接続して実施

申請支援

マイナンバー制度説明会

制度・カードへの不安・誤解を解消

コンビニ交付体験会

動画説明・デモ機で利便性を実感

同会場で写真撮影、申請書記入補助

・住民に番号札をお渡しして、同じ番号のクリアファイルへ、 出力写真や記入済申請書を封入(書類の入れ違えを防止)

後日、区役所からJ-LISへ申請書送付

住民票情報と申請書内容を確認

3. 実績

マイナンバーカード申請件数:14回開催で2,104件を受付

「マイナンバー制度説明会・コンビニ交付体験会」とは

平成29年2月に練馬区が全国で初めて実施。 (制度説明+デモ機操作によるコンビニ交付体験) 17回開催し、会場でカード申請受付を行ったところ、 700件(参加者の7割)を超えた。



説明会資料



コンビニ交付デモ機 (コンビニ等設置のものと同じ)

マイナンバーカード取得促進の取組 石川県小松市の取組事例

〇窓口での体験を通じたコンビニ交付利用促進とマイナンバーカード取得の促進

- 1. 概要
 - ▶ コンビニ交付サービスのメリットを実感することで、カードの申請に繋げる
 - ➢ 窓口申請ツールを活用し、窓口で対面する職員とモニターを実際に操作して体験してもらう
- 2. 実施に至る経緯
 - コンビニ交付の便利さを知ってもらいたい
 - キオスク端末の使い方が分からないという声が多い。
 - ・ 庁舎内キオスク端末まで移動することなく、窓口で体験できないか

対面かつ窓口での案内を実現する

窓口申請ツールを利用した体験デモを実施(平成30年2月開始予定)

3. 期待される効果

- ▶ カード取得状況に係わらず誰にでも案内可能
- ▶ キオスク端末を使用せずに、窓口で案内可能
- ▶ 職員も窓口を空けることなく、効率的に案内可能

体験機会を設けることにより、カード取得促進に効果

「窓口申請ツール」

利用方法の説明が必要

コンビニ交付のJPKI認証基盤により、 窓口の端末からもコンビニ交付と同様に 証明書発行が可能となるツール (端末、プリンタ等は別途必要)



コンビニ交付と同じ操作画面



コンビニ交付体験の様子(予定)

マイナンバーカード取得促進の取組 三重県津市の取組事例

221-1173

〇マイナンバーカード取得(マイキーID設定)を条件とする交通系ICカードの普及促進

- 1. 概要
 - 高齢者外出支援事業として65歳以上の高齢者へ交通系ICカードを無償交付
 - 取得のためには、マイナンバーカードを取得し、マイキーIDを設定することが条件

■津市コミュニティバス24路線が無料

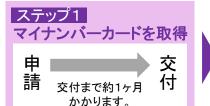
■路線バスは市が付与する

■ICカードに現金をチャージして

市内の交通総

利用することが可能

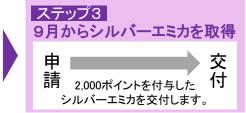
乗車ポイントを使用



ステップ2

9月からマイナンバーカードを使い 総務省のシステムにID登録

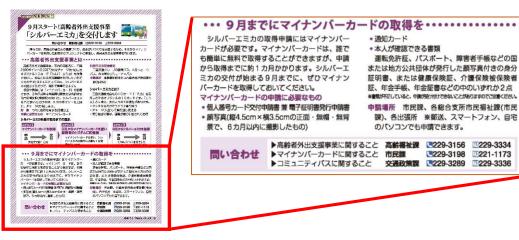
マイナンバーカードを使い、シルバーエミカ の発行に必要なID登録を行います。



- 2. 交通系ICカード普及を通じたマイナンバーカードの取得促進
 - ▶ 毎年2.000ポイントを上限に乗車ポイントを付与(1ポイント=運賃1円分換算)
 - 市広報誌に両カードの取得申請の呼びかけを掲載







- 3. 交通系ICカード交付実績
 - ➢ 平成29年9月25日~12月末 4. 734枚

